

期待できる効果

根の成長促進

発芽と芽の成長促進

植物内のエネルギー生産

▼ 含有成分量

窒素 (N)	6%
可給態リン酸 (P_2O_5)	46%
水溶性カリウム (K_2O)	5%
フミン酸	有効量
L-アミノ酸	有効量

特長

- ・最先端の技術により、植物が吸収しやすいように工夫されたカリウム、窒素に加え、高濃度のリン酸を高効率で供給。
- ・定植期の施用で、細胞分裂を促進し、根や芽の成長を促進。
- ・植物の生長に必要な、エネルギー源 (ATP) の生産を促進し、スムーズな代謝をサポート。

ポイント解説

根が成長するときに必要な細胞分裂には、多くのリン酸が必要です。一般的なリン酸肥料の場合、吸収率が非常に低くなってしまふのは、黒ぼく土など、リン酸吸収係数の高い土壤が多い為です。ルーテックスに含まれるリン酸は、リン酸吸収係数の影響を受けない為、効率良く植物に吸収されます。

施用量

※あくまで、目安となります。作物によって、多少の違いがあります。

根の生長促進	100~700 g /10アール	1~3週間隔
移植・定植時	100~350 g /10アール	移植・定植時
土壌改良	100~350 g /10アール	1~3週間隔

顆粒水和材



灌注、スプレー散布などの散布方法に関わらず、施用面積10アールに対して水量500L、本製品250gでご使用の場合、希釈倍率は2,000倍となります。

荷姿： □9kg □1kg

GROWING BEYOND

ルーテックス

主な栄養素の含有%

N	P	K	Ca
6	46	5	-

関連用語

リン (P)

核酸・ATP・細胞膜の成分。細胞分裂に重要。植物細胞のエネルギー生産に直接的に作用するための植物栄養素。土壌中にあるリンの大半は不溶性で、植物は利用できません。不溶性リン酸を可溶化する1つの方法は、微生物活性を高めることです。微生物の分泌する有機酸によって可溶化できます。

コンプレクシング

陰イオンまたは1価の陽イオンの栄養素をアミノ酸、フミン酸等と結合させることにより土壌中において他の栄養素との望ましくない結合を回避し吸収されやすくする効果を持つ。

キレーション

2価の陽イオンの栄養素をアミノ酸、フミン酸等と結合させることにより、土壌中において他の成分との望ましくない結合を回避する効果を持つ。

リドックス製品の特徴

リドックスのほとんどの製品にはアミノ酸・フミン酸・フルボ酸などの成分を含有しています。これらの成分は植物栄養素となる成分をキレーション・コンプレクシングといった特殊な化学反応を用いて保護しています。そのため、資材混合後のタンク内や施用後の土壌内で、植物栄養素となる成分同士が不必要な結合を行い、植物が利用できない形になってしまうことを回避することができます。また、カルシウム含有の液体資材などにはマイクロカプセル技術が使用されており、マイクロカプセル化されたカルシウムは他の成分との不必要な結合が回避されるだけでなく、マイクロカプセルに使用されている界面活性剤により、葉面での残効性と土壌中での浸透性を向上します。これらの技術が適用されているリドックス製品は、植物栄養素の化学結合による難溶化を回避します。そのため、一般的な農業資材よりも施用量に対する吸収効率が80%以上と高く、少ない施用量でも高い効力を発揮します。リドックス製品は植物栄養素の保護によって従来では無駄に発生していた難溶化成分を極端に減らすことから、持続可能な“サステイナブル資材”として期待されています。



Redox技術による
成分保護のイラスト

